

「らっかせい」をつくらう！！



“ちばけん”の“ゆるきやら”  
“Pまん”と“ピーにやっつ”



## こんかい “さいばい”する“やさい”

### ○”らっかせい”

“らっかせい”は “みなみあめりか” “アンデス” “さんみゃく” “が” げんさん “と  
いわれています。

“がいこく” からきた “やさい” です。

(スペインの “ひと” が “せかいじゅう” に “ひろめ” ました。

- ・ “らっかせい” の “しゅるい”
- ・ “なかくてゆたか”
- ・ “ちばはんだち”
- ・ “てこな”
- ・ “あずまゆたか”
- ・ “だいち”
- ・ “さとのか”
- ・ “さやか”
- ・ “おおまさり” など



“らっかせい”  
の  
“はな”

# こんかい “さいばい”する“やさい”

“らっかせい”の“いろいろ”な“よびな”

“ぴいなっつ”

“なんきんまめ”

“とうじんまめ”

“じいまみい”

“おきなわ”の“よびな”

など



“らっかせい”

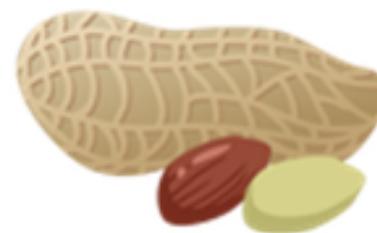
“らっかせい”“せいさん”TOP3

1位 ちばけん (9,590とん)

2位 いばらきけん (1,510とん)

3位 かながわけん (285とん)

“ぜんこく” 12,300とん“



# “らっかせい”をつくろう

# “さいばい”のながれ

「はたけ」を「じゅんび」します



「たね」をうえます



「とり」などの「いたずら」をふせます



「らっかせい」に「えいよう」をあたえます



「くさ」をぬき「えいよう」をとられないようにします



「じゅうかく」します



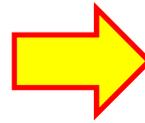
「かんそう」させます



わかった  
かな！

# “らっかせい”をつくろう！！ “さいばい”の“とちゅう”を みてみよう。

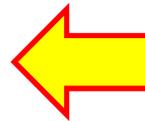
“はたけ”を “じゅんぴ”します。



“トラクタ”などで “はたけ”を ほりおこします。



“せっかい”や“ひりょう”を “はたけ”にまき  
“えいよう”を “つち”いれておきます。



“こううん”が おわりました。



# “らっかせい”をつくらう！！ “さいばい”の“とちゅう”を みてみよう

“つち”と“ひりょう”などを まぜます。



“うね”をつくり “まるち”を かけます。



“たね”は どうやってまくのかな？



“たね”を “じゅんぴ”します。

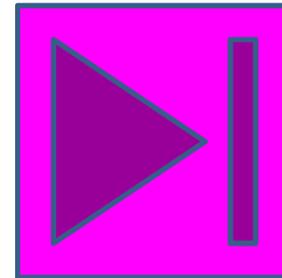
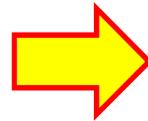


# “らっかせい”をつくろう！！ “さいばい”の“とちゅう”を みてみよう

“あな”の“まるち”をつかいます。



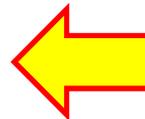
“たね”を“よこ”におき “つち”を かけます。



“め”が できます。



“とり”の“いたずら”を ふせぎます。



# “らっかせい”をつくろう！！ “さいばい”の“とちゅう”を みてみよう

“はな”が さきます。



“まるち”を はがします。



“らっかせい”の“あかちゃん”が  
できてきます。



“えだ”がふえて おおきくなってきます。



# “らっかせい”をつくろう！！ “さいばい”の“とちゅう”を みてみよう

“らっかせい”が “おおきく”なります。



“こんかい”は“ここで”“しゅうりょう”

“えだ”から“カラ”をもぎとる  
“きかい”でおこないます。

このあとは 

“らっかせいや”さんへ  
“よいもの”だけを“あらう”  
～かんそう～“い”る  
※たべられるようにする。

“み”を“うえ”にして “かんそう”させます。



“ぼっち”で さらに“かんそう”させます。



さあ、“らっかせい”をたべてみよう！！

どうやってたべようか？



いままで、どうやって  
たべたかな？

# “おうち”で よくたべるもの

“みそびいなっつ”



“ぴいなっつばたあ”



このほかにも “ちょこれいと”や“けいき”のなかにはいっているよ！  
ほかにも いろいろな“たべもの”にはいっています。これから、“おかし”や“おうち”で  
つくってくれた“りょうり”を たべたときにはいっているかよくみてみよう！

“おうち”で“いろいろ”な“もの”を  
“つくって”“たべて”みよう！



「らっかせい」を つくろう！！

おわり

# ①“しおゆで”で“たべる”

つくりかた

①“み”を“あらい”ます



②なべに“しおみず”を“じゅんぴ”します。“うみ”の“みず”くらいのしょっぱさ)



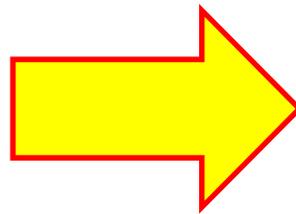
③“らっかせい”を“ゆで”る。(30.ふんくらい)



④20.ふん～30.ふんそのままにしておきます。



⑤さあ、たべてみよう！！



## ②“い”って“たべる”

### つくりかた

①“み”を“あら”います



②“ひとつき”くらい  
“かんそう”させます



③“らっかせい”を  
“から”から“とりだし”ます



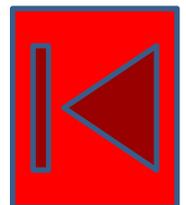
④“かみ”の“ふうとう”  
を“じゅんび”します

⑤“み”を“ふうとう”に  
160gほど“たいら”に  
いれます

⑥“でんし”“れんじ”で  
(500W)3ふん“かね  
つ”します

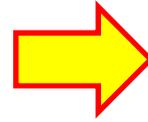
⑦“ふうとう”を“とりだし”  
“かくはん”します

⑧もういちど“でんし”  
“れんじ”で(500w)2ふ  
ん“かねつ”します



# “らっかせい”の“たね”のまきかた

“まるち”の“あな”



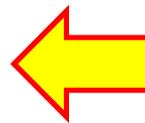
“たね”を“よこ”にして“まんなか”におきます



“たね”の“うえ”に“つち”をかけます

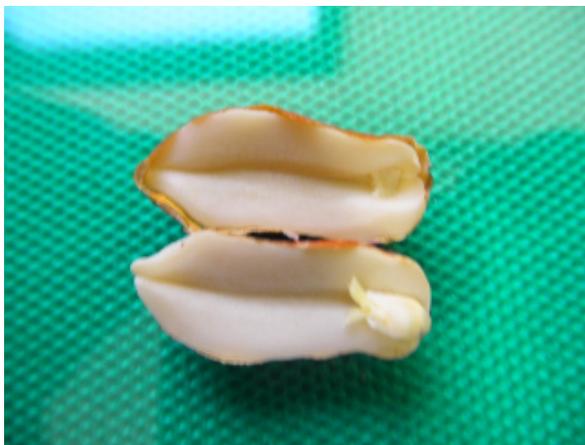


“たね”を“ゆび”で すこしおさえます



# “らっかせい”の“たね”の“なか”をみてみよう

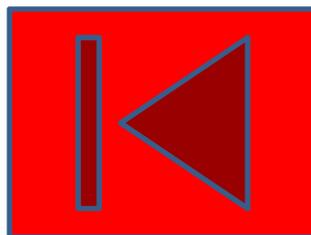
“たね”を わりました



“たね”の“なか”



ここから “ね”と“め”がでます



# “いり” “らっかせい” ができるまで

“らっかせい” を “だつりゅう” します

“ボッチ” を、“だつりゅうき” で、  
“は” と “くき” を “とばして” “らっかせい” の “み” だけにします。

“は” や “くき” をとばす

だつりゅうき



# “いり” “らっかせい” ができるまで

## “だつりゅう” した “らっかせい” を “せんべつ”

“だつりゅう” しても、“くき” や “は” がのこっています。“み” が “は” いていないものもあるので、“きかい” の “かせ” の “ちから” で、いらぬものを “とばし” て、“み” が “は” いてるものだけに “せんべつ” します。

“らっかせい” の “み”



“み” をいれる



“は” や “くき” をとばす



“み” とゴミをわける



“せんじょうき” へ

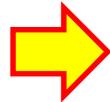


# “いり” “らっかせい” ができるまで

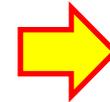
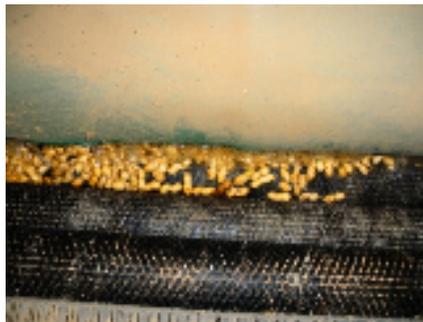
“らっかせい” の “み” を “あら” う

“せんべつ” した “らっかせい” の “み” を、“みず” で “あら” います。

“み” を “あら” います。



“み” を “あら” っています。



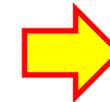
“あら” い おわりました。



“かんそうき” へ①



“かんそうき” へ②



“かんそうき” へ③

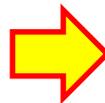


# “いり” “らっかせい” ができるまで

“らっかせい” を “かんそう” します。

“みず” で “あらった” “らっかせい” の “み” を、“かんそう” させ、そのご  
“ちいさな” “み” やからの “われた” “み” を “とりのぞき” ます。

ボイラーの “ねつ” を “かんそうき” へ “おくり”、  
“み” を “かんそう” します。



“かんそう” が  
“しゅうりょう”

“ちいさな” “み” や “われたみ”  
を “とりのぞき” ます



# “いり” “らっかせい” ができるまで

“せんべつ” します。

“わるい” “らっかせい” の “み”  
“とりのぞき”、“しょうひん” とします。

“ひと” の “て” による  
“せんべつ” へ

“ひと” の “て” によって “わるいみ” を  
“とりのぞき” きます

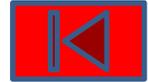


“せんべつ” した “み” を “ふくろ” につめます



# “いり” “らっかせい” ができるまで

“いり” ます。



“ひと” の “て” によって “せんべつ” した “らっかせい” の “み” を、  
“い” って “みんな” が “たべられる” “らっかせい” にします。

“いりき” にいれる



“いり” ます



“いり” を  
“かくにん” します



“いり” が  
おわりました



“かせ” で “ねつ” を  
さまします



“ふくろ” につめます

